

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 610

所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当者名	上西 奈穂
事業名	京の子ども夢・未来体験事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	京の子ども夢・未来体験事業			政策体系	122
会計	一般会計	科目	10.教育 - 1.教育 - 2.事務		

1. 事業の概要

小学校では仕事に関する探究や仕事に関わる体験活動を1日程度、中学校では職場体験活動を複数日実施する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市内全小中学校の原則小学校4学年及び中学校第2学年を対象として、職場体験活動を実施し、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育成する。学校教育におけるキャリア教育を推進する事業である。

②事業を実施する必要性

児童・生徒が将来への夢と希望を持って、力強く生きようとする意欲や態度をはぐくむことから職業観や勤労観を身に付けさせるなどのキャリア教育の推進は必要な事業である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	896	840	840	840	840	840	840
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	896	840	840	840	840	840
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.10	0.15			
人件費	千円	—	—	437	934			
事業費総額	千円	—	—	1,277	1,774			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

市内全・小中学校を対象に1学級28,000円ずつの委託金を配分（全30学級）
 職場体験学習の実施 840,000円（謝金、旅費、消耗品、印刷製本費、通信運搬費、手数料、保険料）

5. 事業結果の概要

市内の小学校4年生、中学校2年生を中心に南丹市内の各事業所で職場体験を実施し、児童・生徒の豊かな人間性や社会性の育成を図った。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1)		
●各小・中学校実施計画書提出●補助金交付申請●京都府より交付決定通知 840,000円 (@28,000円×30学級)	4月	
(2)実施		
●各校事業開始 学校内に校長を中心とした事業実施推進組織をつくり、計画立案、検討、推進、事業実施へと進める。	9月～11月を中心に	小学校17校(3年生から6年生の20学級)316人、中学校4校(2年生 10学級)288人が、基本的に校区内の事業所(校区外もあり)で体験活動を行った。
(3)実施		
主な活動先 (小学校) 長生園、こひつじの苑、あしたーる工房、八木デイサービスセンター、ラポール八木、はぎの里、美山育成苑などでの福祉体験及び介護体験、公立図書館、幼稚園、情報センターなどの公共施設、地元農家での農業体験、林業体験、地元商店等での商業体験、京都匠塾での文化体験(中学校)幼稚園、保育所、市役所(支所)などの公共施設、農協、森林組合、日吉ダム管理事務所などの公益法人等、市内商店街・事業所等での商業体験など		
(4)実施		
●各校実績報告書提出●京都府へ実績報告書提出●京都府より補助金入金	3月	

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

京都府からの委託事業であり、府内全域で実施されている。今年度においては、文化・芸術を生み出すことを生業とされている職場への訪問も実施でき、子どもたちの豊かな感性を育むことにもつながった。職業観を培う観点からのキャリア教育の重要性からも、継続した取り組みが必要である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

京都府からの委託事業であり、府内全域で実施されている。職業観を培う観点からのキャリア教育の重要性からも、継続した取り組みが必要と考える。